

税金について

小樽市立朝里中学校 二年 丸山 憧恋

私は、今まではどうして税金を納めるのか、税金はどんな所で活躍しているのか、税金が無くなってしまったらどうなるのか、という三つの疑問がありました。私は、それについて調べてみることにしました。

まず、一つ目のどうして税金を納めるのかを調べました。

税金とは、年金・医療などの社会保障・福祉や、水道、道路などの整備や、教育、警察、防衛といった公共サービスを運営するための費用なのです。税金は国民の義務と言いますが、私は税金は何か物を買って税金を払って他の誰か知らない人への助けになったり、逆に自分が助けてもらったり、人と人が助け合っていくために納めると調べて感じました。

次に、二つ目の税金はどんな所で活躍しているのかについて調べました。

調べた結果、主に健康や生活を守る「社会保障費」という費用に使われているのが分かりました。他にも教育などにも使われていて、案外、身近な所で活躍していました。

最後に、三つ目の、税金が無くなってしまったらどうなるのかについて調べました。

税金がない世界では病気になったり、年をとって働けなくなったり、体がうまく動かせなくなったりした時に、だれの助けもなく、自分たちだけで生活していかなきゃだめになり、安心して生活することが難しくなってしまうのです。

私は、税金について調べて、税金は払うのが大変と親は言っていたけど、大変だと思うけど、その払った税金がだれかの助けになったり、自分の助けになるんだと考えたら、その関係がおもしろいなと思いました。

調べるうちに、税金という制度が無い国があり、その国なりのものがあるのかなとか疑問がどんどんうかんできて、税金を調べて、少しは自分が見えてた世界が広まったと思ひ、うれしく思いました。